

# 栄養教諭が行う食育のコーディネーターとしての 役割に関する文献レビュー

## Literature review of the role of nutrition teachers as Shokuiku coordinator

木村 具子\*・土田 満\*\*

\*至学館大学、\*\*愛知みずほ大学大学院

Tomoko KIMURA\* and Mitsuru TUCHIDA\*\*

*\*Shigakkan University \*\*Graduate Center of Human Sciences, Aichi Mizuho College*

キーワード：栄養教諭；食育；コーディネーター；連携。

Keyword：nutrition teacher；Shokuiku (food and nutrition education)；coordinator；cooperation.

### 1. 緒言

子どもたちのライフスタイルや健康に関する問題は山積している。子どもの健康問題には、子供を取り巻く生活要因が大きく影響を与えている<sup>1)</sup>。朝食欠食や偏った栄養摂取、肥満や痩身等、食と関連のある要因も多い<sup>2)</sup>。

このような現状から、子どもを含めすべてのライフステージにおいて、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることを目指して、食育基本法が制定された。この中で、家庭、学校、保育所、地域等を中心に食育の推進に取り組むとされており、子どもたちの心身の成長が培われる学校に係る実践が、社会全体に食育を推進していくための基盤として重要視されている。

食育基本法の制定と同年の平成 17 (2005) 年に栄養教諭制度が始まった。その前年に中央教育審議会答申「食に関する指導体制の整備について」において学校教育の中で食に関する指導を推進するために栄養教諭に期待されたことは、専門性を活かし、教職員の連携調整を行い、コーディネーターとしての役割を担うことである。また、学習指導要領においても食育推進の重要性が挙げられている。しかし、栄養教諭の配置状況は 6488 人で、小中学生 1484 人及び小中学校 4.6 校につき栄養教諭 1 人の配置となっており<sup>3)</sup>、各校や各地域において食育を推進するには厳しい環境であると

する報告が多数なされている<sup>4, 5, 6)</sup>。学校における食育は、家庭や地域、関係諸機関と連携して推進し充実させていく必要があるが、栄養教諭の配置状況を踏まえると、栄養教諭制度当初に期待されていたコーディネーターとしての役割が、かなり重要であると考えられる。

これらのことから、食育推進のために栄養教諭のコーディネーターとしての役割についての実態と課題について分析する必要がある。そこで、これまでにわが国で発表された栄養教諭と関係者関連機関との連携、あるいは栄養教諭の食育のコーディネーター役に関して研究した論文から、研究報告年、研究の目的、調査年、調査対象者、コーディネート・連携に関する課題等を整理することで、栄養教諭のコーディネーターとしての役割に関する研究の動向と今後の課題を検討した。

### 2. 方法

#### 1) 対象論文の決定方法

文献データベースである医学中央雑誌 Web 版を利用して、年代の制限無く、「栄養教諭 and コーディネーター」、「栄養教諭 and 連携」をキーワードにし、キーワード「連携」の統制語は案内された 5 つの統制語すべてを選択し、原著論文の条件で検索した。また、CiNii Articles も利用して同様なキーワードで検索した。該当した論文の内、(1) 栄養教諭または栄養職員が関連し

ていない研究、(2)重複文献、(3)原著論文でないものは排除した。

## 2) 対象論文の分析方法

対象論文を文献ごとに著者、研究報告年、研究目的、調査年、対象者、調査地域、調査・分析方法、栄養教諭が関わる連携の場面、コーディネート・連携に関する課題等を抜き出して文献一覧を作成し、連携の種類別のカテゴリーに分類した。

## 3. 結果

### 1) 文献検索の結果

医中誌では11の原著論文が、CiNiでは27の論文が該当した。そのうち重複文献を除き、研究目的に合致したもの32編を分析対象とした。

各年における文献数を図1に示した。栄養教諭制度は2005年に始まったが、対象文献の刊行年は2007年から始まり2007～2009年は6編、2010～2014年は12編、2015～2018年は14編あり、増加傾向にあった。

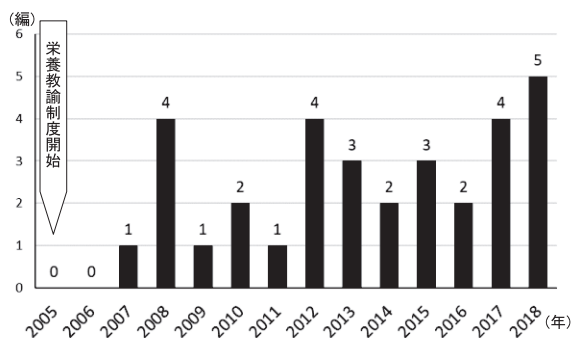


図1 栄養教諭と連携・コーディネートに関する文献数

### 2) 連携・コーディネートによる分類

研究の目的や内容を、連携・コーディネートに着目し、5つに分類したものを表1その1～その4に示した<sup>7)～38)</sup>。A. 栄養教諭と他教職員との連携に関するもの(8編)、B. 栄養教諭と連携した食育の実践と評価に関するもの(8編)、C. 栄養教諭の連携の実態や意識に関するもの(7編)、D. 栄養教諭養成教育での他職種連携教育に関するもの(7編)、E. 栄養教諭が行うコーディネートの具体的な内容に関するもの(2編)であった。多くの論文は家庭・地域や生産者、関係諸機関、教職員との連携や調整を指摘しているが、その具体的な方法までは言及していなかった。また、コーディネートの具体的な方法を記載した論文は2編と少なかった。

### 3) 調査対象者

調査対象別に分類すると、栄養教諭のみは7編、栄養教諭を含まない教員が3編、栄養教諭を含む教員が3編、栄養教諭を含む教員と児童が1編、栄養教諭を含まない教員と児童が1編、児童と保護者が1編、学

生が6編、栄養教諭と学生が1編、栄養教諭と養護教諭、学生が1編、学校が4編であった。

調査対象に栄養教諭が含まれている研究は15編であった。

### 4) 調査地域

調査地域が明確になっている研究は18編であった。そのうち、東日本は5都道府県、西日本は13府県であった。その他や不明であるものは14編であった。

### 5) 調査・分析方法

質問紙調査及びアンケート調査が16編、インタビュー調査が2編、アンケート調査とその他の組み合わせが8編、評価表を活用したものが1編、文献や資料によるものが5編であった。

### 6) 栄養教諭が連携する対象者

調査内容等から栄養教諭と連携する者を抽出したところ、教員・教諭が含まれるものは28編であった。その内訳は、教諭および教員5編、家庭科教員等教科担任5編、学級担任と教科担任が3編、養護教諭が1編、教員と養護教諭が1編、教職員が1編、教員と家庭・地域等が7編、担任と保護者が1編、教職員と学級担任が1編、学級担任・養護教諭・PTAが1編、作業療法士と担当教員が1編、共同調理場・教職員・児童等が1編であった。一方、教員を含まないものには、保護者と地域2編、学校が2編であった。

### 7) 栄養教諭が関わる連携の場面

栄養教諭が関わる連携の場面を抽出したところ、授業が含まれるものは21編であった。その内訳は、T.T.授業が8編、家庭科授業が2編、その他には食育と全体計画・年間計画の作成や教材研究が1編、栄養教諭がコーディネートした学級担任中心の食育指導や家庭との連携が1編、その他保健指導、保健相談、特別活動、給食時の個別指導の場面があった。授業を含まないものは8編で、内訳は、食育指導4編、個別支援1編、児童への個別指導・保護者への個別指導・PTA事業が1編、給食指導1編であった。その他には、教職員間の共通認識に関するものが1編あった。

### 8) コーディネートや連携に関する課題等

栄養教諭が行うコーディネートや連携に関する課題は、研究の目的が異なっても共通する課題が挙げられていた。校内に関する課題を挙げたものは12編で、その内容は、チーム学校としての取り組み、教職員間の連携、共通認識をもつ、実践の蓄積、担任の意識の持ち方、担任との相互理解、教員との共同研究の場の必要性、教職員の理解と協力、学校・教員の認識、関係者の理解不足、学級担任との互いに協力し合う関係性を課題として挙げていた。

家庭や地域に関する課題は3編で、その内容は保護者の関心をさらに高めることと発信、地域との連携が

表1 分析対象とした栄養教諭と連携・コーディネートに関する文献一覧 その1

カテゴリー	著者名 (刊行年)	研究の目的	調査時期	調査対象者(有効回答数)	調査地域	調査・分析方法	栄養教諭が 連携する対 象者	栄養教諭が 関わる連携の 場面	栄養教諭が行うコーディネートや 連携に関する課題等
A 栄養教 諭と他 教職員 との関 係	沖本ら (2018) <sup>7)</sup>	食育推進校であるA小学校の栄養教諭と他教諭の関係性に着目し、栄養教諭・他教諭・児童の意識調査による食育推進校の実際から栄養教諭の「総合的なマネジメント能力」の具体について検討	2017.02	A 小学校の栄養教諭、教諭 23名、児童(5年生 72名、6年生 109名)	広島県	質問紙調査	栄養教諭以外の教諭	TT授業	栄養教諭を中核とした「チーム学校」のさらなる食育推進
	井奥ら (2009) <sup>8)</sup>	大阪府下の小学校教諭を対象に、食教育の実践状況における世代の影響を検討	2008.09 ～10	38 校小学校勤務の教諭 526(養護教諭・栄養教諭、管理職は除く)	大阪府下の政令指定都市 2市	質問紙調査	小学校教諭	連携授業	いろいろな世代の教員が食教育指導における長所を見出し、教員同士、教員と保護者との連携、価値判断の共有が求められる
	井奥ら (2014) <sup>9)</sup>	小学校における学級担任と栄養教諭、養護教諭の連携と子どもの食生活に関する問題意識の経時的変化を検討	2009 2013	小学校教諭 348、養護教諭 89、栄養教諭 45	大阪府	質問紙調査	小学校教諭、養護教諭	食育実践科目(家庭科、社会科等)、食生活指導	栄養教諭の食育に対する積極性、小学校教員や養護教諭に対する理解が求められる
	野田ら (2013) <sup>10)</sup>	小学校教員への調査から、食育推進への意識、食育との連携の実態、連携の阻害要因について探った	2008.08 ～10	公立小学校家庭科担当教員 310	大阪府下(大阪市内除く)	アンケート調査	家庭科教員等	家庭科	-
	篠原 (2012) <sup>11)</sup>	「五感を育む食教育」を構築するための基礎資料を得ることを目的	2009.10 ～11	小学校 159 校、中学校 79 校	宮崎県	質問紙調査 クロス集計、カイニ乗検定、残差分析	教員	食育、教材研究や教材作成、年間計画の作成	各教科と連携を図る際の時間の確保・調整、栄養教諭の各校 1 名配置あるいは栄養職員から栄養教諭への配置換え
	押谷ら (2012) <sup>12)</sup>	教職員の食育の認識と食育の指導体制を明らかにし、H 小学校の栄養教諭と教職員との連携充実のための提案を行う。	2009.03 ～08	教職員(栄養教諭含む)	滋賀県	半構造化インタビュー、KJ 法	在籍校の教職員	教職員間の共通認識	共通認識外の事項を共通認識に変えていく必要がある
	小林 (2011) <sup>13)</sup>	栄養教諭がどのようにに他の教職員と連携・協力しながら教育実践を積み重ねているか、そのプロセスを明らかにする	2010.07 ～09	A 県採用の栄養教諭 7 名	-	インタビュー調査(半構造化面接)M-GTAによる分析	管理職、教員、家庭科教諭	TT 授業	家庭科教諭と栄養教諭の連携へ応用するための実践の蓄積が必要
	小林ら (2010) <sup>14)</sup>	栄養教諭が行う職務の実態とその問題点を明らかにする	2007.08	栄養教諭 173	全国	質問紙調査 カイニ乗検定	家庭科教諭、学級担任、養護教諭、農漁業者、学校医、地域の栄養士	TT 授業(教科目ごとの割合)	家庭科教諭との連携

表1 分析対象とした栄養教諭と連携・コーディネイネートに関する文献一覧 その2

カテゴリー	著者名 (刊行年)	研究の目的	調査時期	調査対象者(有効回答数)	調査地域	調査・分析方法	栄養教諭が 連携する対 象者	栄養教諭が 関わる連携の 場面	栄養教諭が行うコーディネイネートや 連携に関する課題等
B 栄養教 諭と連 携した 食育の 実践と 評価	土方ら (2017) <sup>15)</sup>	学校における効果的な食育のあり方を考察する	2017	2014・2015年度 文部科学省「ス ーパー食育スク ール事業」指定 の小中高等学校 食に課題のある 児童生徒8名、 栄養教諭8名、 作業療法士2名	全国(63 事業、69 事例)	「スーパー食育 スクール事業結 果報告書」を分 析	担任、教科担 任	食育の指導	食育充実のためには、食育の継 続、食育指導者の意識を高め、 地域と学校が連携して取り組む 必要がある
	倉澤ら (2018) <sup>16)</sup>	栄養教諭と作業療法士が協働するこ との有効性について検討	2015.09 ～		-	個別自演計画 の実践後、ゴー ル達成スケーリ ングで評価、 ABC-J スコアを 対応のあるt検 定	作業療法士、 担当教諭	個別支援	-
	嶋田ら (2015) <sup>17)</sup>	栄養教諭が中核となり保護者・地域 を巻き込んだ食育プログラムの実施と その効果を明らかにする。	2011.06 ～ 2012.03	B 小学校児童 226名とその保護 者170名	四国地方	アンケート調査 (事前事後に同 じ内容を実施)	学級担任、保 護者、地域	栄養教諭が コーディネー トした学級担 任が中心の 食育指導や 家庭との連携 給食指導、学 活	保護者の食に対する関心をさら に高め、共食の支援に重点をお き、方法を精選し発信することが 求められる
	水津ら (2017) <sup>18)</sup>	伝統的な食文化への理解について、 特産品と郷土料理に着目し、学校現 場で行われている教育活動の実態を 把握する	2014.11	栄養教諭17名	島根県A 市、B市	無記名自記式 アンケート	農家の方、保 護者、地域の 方		行政による社会資源の活用が必 要
	大竹ら (2014) <sup>19)</sup>	家庭科・技術科・栄養教諭との連携 を図った食育の実践を行い、あらゆる 場面で取り組む食育のカリキュラムの 可能性を探る。	不明	小学校2校、中学 校4校、高等学校 1校、特別支援学 校1校の児童生 徒と教員	東京都	授業録画デー タ、聞き取り、記 述を分析	学級担任(家 庭科)	学級担任との 連携による授 業、自閉症児 への給食時 における個別 指導	担任の意識の持ち方により栄養 教諭との連携の活用の差が出る
	松田 (2013) <sup>20)</sup>	食育に関する特別活動の実践と課題 についての文献検討	-	栄養教諭	-	資料・文献等	教職員、学級 担任	特別活動	食に関する指導の徹底には、栄 養教諭と学級担任による相互連 係が図られることが必要
	伊波 (2008) <sup>21)</sup>	学校全体で取り組まれる食にかかわ る教育の方向性について、特に家庭 科教育における栄養教諭との連携に ついて考察	-	-	-	文献検討	家庭科担当 教師	家庭科授業	他の教諭と共同研究していく場と 時間の保障
	鈴木 (2007) <sup>22)</sup>	栄養教諭の食育実践の現状と、教科 担当教員と栄養教諭(教諭)の連携を 進展させるための課題を検討した。	2005.08	栄養教諭認定講 習会に参加した 栄養教諭91名	奈良県	留め置き法によ るアンケート調 査	教科担当者	TT 授業	栄養教諭の各自治体による任意 配置制度の見直し



表1 分析対象とした栄養教諭と連携・コーディネイトに関する文献一覧 その3

カテゴリー	著者名 (刊行年)	研究の目的	調査時期	調査対象者(有 効回答数)	調査地 域	調査・分析方法	栄養教諭が連 携する対象者	栄養教諭が 関わる連携の 場面	栄養教諭が行うコーディネイトや 連携に関する課題等
C 栄養教 諭の連 携の実 態	萩尾ら (2016) <sup>(23)</sup>	鹿児島県における栄養教諭による食 に関する教育・授業がどのように行わ れているのか、その現状や課題の明 確化	第1回 2010.11 第2回 2014.11	公立小学校第 1回 760 校第 2回 748 校	福岡県	質問紙調査 学校給食栄養 管理者あななし の2群でカイ二 乗検定 文献検討	学校・家庭・地 域・管理職・教 職員、生産者	全体計画の 作成、TT 授 業、個別的な 相談指導	食に関する指導にかかわる全体計 画の作成は、学校現場以外との 協力体制を求めめる必要がある 養成機関である大学における教 育内容についても検討 食に関する指導・授業のネットワ ークづくり
	倉元 (2008) <sup>(24)</sup>	鹿児島県における栄養教諭による食 に関する教育・授業がどのように行わ れているのか、その現状や課題の明 確化	2008	-	-	文献検討	学級担任	TT 授業	
	沖本ら (2018) <sup>(25)</sup>	栄養教諭免許取得可能な大学生ら の栄養教諭への職業イメージに対 し、現役の栄養教諭等が現場で必要 と感ずる資質等との比較を行い、養成 課程カリキュラムの重点を整理し、大 学生に実施した授業の効果を検討 栄養教諭の連携活動の実施状況と それに関連する要因を明らかにする	① 2016.11 ② 2016.10	①栄養教諭等 ②短大生・大学 生	広島県	質問紙調査	保護者・地域・ 教員・職員等	TT 授業	免許取得を希望する大学生に体 験学習を取り入れ支援する
	能瀬ら (2018) <sup>(26)</sup>		2012.08	全国学校栄養 士協議会に所 属する栄養教 諭または学校 栄養職員 412 人中 172 人	兵庫県 大阪府	無記名自己記 入式質問紙法	教職員・学級 担任、保護者、 家庭、地域、学 校医、保健師	学校運営上 の連携、指導 における連 携、地域との 連携活動、計 25 項目	地域との連携活動が十分に行わ れていないため、関連要因を明 らかにする必要がある
	村上ら (2012) <sup>(27)</sup>	栄養教諭、学校栄養職員、他の教職 員の食に関する指導・食育への取り 組み状況などの実態を知ることによ り、栄養教諭や教職員、学校全体の 食に関する指導、食育に存在する今 日の課題・問題点について検討 ①栄養教諭制度に対する家庭科教 諭の意識の実態とその考えの背景を 考察②栄養士等の資格を有した家 庭科教諭の栄養教諭との連携授業 に対する意識を考察③栄養教諭等 がこれまでに経験した連携授業の問 題点を把握し今後の課題の明確化 先進的な取り組みから栄養教諭の職 の実態を明らかにする	2007.11 ～12 2007.2 ～3 2007.7 ～9	学校栄養職員 および栄養教 諭 104 家庭科教員 151 栄養教諭学校 栄養職員 140	香川県 (女子 栄養大 学)	質問紙調査 質問紙法	教職員・保護 者・地域、学級 担任・養護教 諭・学校医	食に関する 指導・食育	栄養教諭等が食に関する指導の 中心となり推進し他の教職員も 食に関する指導への理解を深め 協力して食に関する指導に取り 組むことで学校全体の活性化の 可能性はある 栄養教諭等が連携授業におい て直面している課題は、「時間に 関するもの」「学校・教員側の認 識に関するもの」「児童生徒理解 に関するもの」「自分の力量に関 するもの」「その他」であった
	尾崎ら (2008) <sup>(28)</sup>		2006.8 2007.2 ～3 2007.7 ～9	家庭科教員 151 栄養教諭学校 栄養職員 140	福岡県 京都市 札幌市 南州市	質問紙調査 質問紙法	学級担任、養 護教諭、PTA	児童への個 別指導、保護 者への個別 指導、PTA フ ードリサイク ル事業	コーディネータ役にはより多くの 経験が必要 栄養教諭を生かして育てる環境 整備が課題
	川越 (2008) <sup>(29)</sup>		平成 15(2003) ～ 20(2008) 年	-	福岡県 京都市 札幌市 南州市	資料・文献等	学級担任、養 護教諭、PTA	児童への個 別指導、保護 者への個別 指導、PTA フ ードリサイク ル事業	コーディネータ役にはより多くの 経験が必要 栄養教諭を生かして育てる環境 整備が課題

表1 分析対象とした栄養教諭と連携・コーディネートに関する文献一覧 その4

カテゴリ	著者名 (刊行年)	研究の目的	調査時期	調査対象者(有効 回答数)	調査地 域	調査・分析方法	栄養教諭が連携 する対象者	栄養教諭が関 わる連携の場 面	栄養教諭が行うコーディネートや連携 に関する課題等
D	水津ら (2017) <sup>(30)</sup>	養護教諭および栄養教諭養成課程における 教職実践演習において看護学科と栄養 学科の両学科における合同演習教育プロ グラムの、学生の授業評価や教育現場との 連携を図りながら振り返り、多職種連携を 主眼とした演習プログラムの開発に資する 「教職実践演習(栄養教諭)」2017年度の 授業展開について、学生が地域連携で学 んだことを次年度の授業計画に活かすた めに課題を明らかにする	2013～ 2015	養護教諭2名、大学生 教諭2名、大学生 30	山口県	グループインタビュー、 授業評価 や感想	養護教諭	TT 授業、保健 指導、健康相 談等	学校現場の教諭からは「演習事例の 背景設定を学校や保護者の実情に 沿ったものに」などがあり、多職種連 携教育の学習プロセスを評価できるよ うにすることが課題
栄養教 諭養成 課程で の多職 種連携 教育	菊地ら (2018) <sup>(31)</sup>		2017	大学生	藤女子 大学	アンケート、レポ ート	地域	—	「教職実践演習(栄養教諭)」では「社 会に開かれた教育課程」を深めてい けるような地域連携に関する体験活 動の継続実施が必要
	古郡ら (2016) <sup>(32)</sup>	栄養教諭養成課程と小学校教諭養成課 程の学生の意見交換や質問紙調査を行 い、互いの職種に対する意識や認識の結 果から連携の可能性を探る	2014.1	大学生 32	—	意見交換会、質 問紙調査	小学校教諭	TT 授業	授業において、食育での連携と共同 の気づきのある意見交換会の継続が 重要
	小沢 (2015) <sup>(33)</sup>	養護教諭、栄養教諭の教職課程の履修段 階にある学生による児童生徒との対人関 係発達に関する気づきを調べた	①2012.7 ②2014.10	①養護教諭教職 課程履修生 ②栄養教諭教職 課程履修生 大学生	—	①質問紙法 ②ロールプレイ ンゲーム	学級担任、保護者	食生活指導	「養護教諭」と「栄養教諭」の教職課程 履修生は、学校現場における個に対 する教育的な活動の展開に努力しよ うとしていることが示唆された
	嶋田ら (2015) <sup>(34)</sup>	栄養教諭を目指す学生たちが、ボランテ ィアで食育推進活動に取り組んだ結果から、 ボランティア活動の効果と課題を明らかに し、今後の活動への示唆を得る	2012.6～ 2013.2	大学生	—	アンケート調査、 インタビュー	ボランティア受け 入れ校	小学校での食 育	食育は一朝一夕に結果が出るもので はなく、継続的に、そして多方面と連 携協力しながら進める必要がある
	嶋田ら (2012) <sup>(35)</sup>	短期大学が学校等と連携して食育推進 し、学生は学習ボランティアとしての活動 内容を評価することで教職課程の内容の 充実	2011.04～ 10	栄養教諭課程履 修の短期大学2 年生 13名	短期大 学	学習ボランティア 活動参加者とな 参加者の自己評 価シート、参加者 にグループインタ ビュー、小学校教 員等にアンケート 調査	共同調理場、幼稚 園小学校の関係 教職員と園児児 童	(共同調理場で の給食管理業 務補助、幼稚 園小学校での 給食指導、小 学校5年生家 庭科と連携した 食指導の補助)	学生の学校教育に関する理解・知識 不足
	金沢ら (2010) <sup>(36)</sup>	教科指導力、児童指導力などの実践指導 力のレベルアップとその確認を狙いとし て、研究授業を実施し効果判定を行う	2007.12	栄養教諭課程履 修の短期大学2 年生 26名	盛岡大 学短期 大学部	研究授業の実 践、学生へのアン ケート調査、児童 への聞き取り調査	小学校 (短期大学)	(栄養教諭課程 の学生と教員 による研究授業 の家庭科)	担任から研究授業の機会を望まれて いるため、継続する必要性が示唆さ れた
E	氏家ら (2013) <sup>(37)</sup>	宮城県の小学校の栄養教諭・学校栄養職 員(94名)を調査対象とし、コーディネート の実践により「している」、「してみよう」、「し ていない」の3グループにタイプ分けした 上で、それぞれのタイプの現状と課題の明 確化	2009.6～8	栄養教諭・学校 栄養職員 97	宮城県	留意点法の質問 紙調査	教職員、家庭、地 域社会	全体計画、年 間計画、授業	家庭や地域との連携のコーディネー トは、また実践が少なく、コーディネー トに向けての情報収集とネットワークづ くりが課題
栄養教 諭が行 うコーデ ィネート の実践 について	新保ら (2017) <sup>(38)</sup>	小学校の学級担任を対象に、学級担任が 給食指導で参考になっていることを調べ、栄 養教諭・学校栄養職員と相談している者の 特徴を検討	2014.7	市立小学校学級 担任 456	埼玉県	質問紙法	学級担任	給食指導	困難な理由では、全体的に給食管理 の多忙と、関係者の理解が課題 学級担任と栄養教諭等との連携につ いて、一方の視点だけでなく互いに 協力し合う関係性を探る必要がある

十分行われない要因を明らかにすること、食に関する指導の全体計画作成には学校現場以外との協力体制が必要であることを課題として挙げていた。

栄養教諭に関する課題は6編で、その内容は、積極性や教員・養護教諭に対する理解、時間の確保と調整、食育指導者の意識を高める、時間の保障、児童生徒理解、自分の力量、多忙さ、情報収集等であった。

栄養教諭養成課程での課題を挙げたものは7編で、その内容は養成機関での教育内容の検討、体験学習を取り入れた支援、多職種連携教育の学習プログラムの評価、地域連携に関する体験活動の継続、食育での連携と意見交換会の継続、学生の学校教育に関する理解・知識不足、研究授業実践の継続を課題に挙げていた。

行政に関連する課題は3編で、栄養教諭の各校1名配置あるいは栄養職員から栄養教諭への配置換え、食育に関する社会資源の活用、自治体による任意配置制度の見直しが挙げられていた。

ネットワークづくりを課題に挙げたものは2編であった。

#### 4. 考察

2007～2008 年当初は栄養教諭を対象とした研究は栄養教諭が食育をどのくらい実践し、誰と連携したかの連携の状態の調査が多かった。それ以降、直接食育を行っている教員等の実態を解明する調査が増えてきている。食育推進者が栄養教諭に留まらず、実際に行っている学級担任等に関する調査も増えている背景には、食育に関与する実施者の広がりが示唆される。

栄養教諭の学校や地域等における食育のコーディネート状況に関する報告は、最近数編出始めてきている。これは、栄養教諭が職務として期待されている食育のコーディネートをし始めている状況が推察される。今後、栄養教諭のコーディネーターとしての役割や方法等の詳細な調査が多数報告されて、データが蓄積されることが重要であり、それにより食育がより一層推進することが期待される。

分析対象とした32編の文献では、栄養教諭が連携する対象者は教員、連携の場面は授業、連携に関する課題は校内連携に関するものが多かった。栄養教諭が期待されている食育のコーディネーター役を実践するには、校内の教職員とはもちろん、それ以外の保護者・家庭や地域との連携も必要である。しかし、家庭や地域との連携に関する文献は少なかった。その要因の一つとして、栄養教諭の職務状況が量的にも時間的にも厳しい状況であることが関係していると推察される。岡崎ら<sup>39)</sup>の、栄養教諭は給食管理業務を行った上で食育指導も実施しており、時間的に余裕の無い状況であると報告からも、栄養教諭の職務状況が時間的に厳

しい状況に置かれていることが裏付けられる。また、対象文献からは、栄養教諭の時間の確保や配置人数に関する課題も挙げられている<sup>11)</sup>ことから、職務の現状を改善するためには、詳細な職務実態や連携状況を明らかにすることも必要とされる。

栄養教諭養成校においても多職種連携に関する授業がなされており、このような授業を継続する必要性が挙げられていた<sup>31, 32, 36)</sup>。養成課程における授業では、基本的な職務内容を学ぶに留まるため、具体性に欠ける内容で授業が行われている傾向がある。現役の栄養教諭が多職種連携に関して必要性を感じている事柄を授業にフィードバックすることで、今後栄養教諭になるようとする学生が現場に出た時に対応できる力が養成され、現場におけるコーディネート力が向上する可能性が示唆される。

#### 5. まとめ

栄養教諭が行うコーディネートや連携に関する文献検討を行った結果、以下の2点を課題として抽出した。

- ・栄養教諭の職務の実態とコーディネートの現状とそれらの関連性を検討する必要がある。
- ・栄養教諭養成においてコーディネート力を身に付けるための教育内容について検討する必要がある。

#### 文献

- 1) 西田忠男, 現代の子ども健康と保育の実践的課題, 「教育臨床総合研究 12 2013 研究」P77～89 (2013)
- 2) 赤松利恵, 学童期における子どもの食の課題と対策, 医療科学 2017 Vol. 66 No. 6 p. 574～581
- 3) 文部科学省, 学校基本調査(令和元年 5 月 1 日現在)[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/chousa01/kihon/kekka/k\\_detail/1419591\\_00001.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/kekka/k_detail/1419591_00001.htm) (2020 年 9 月 28 日参照)
- 4) 本田 藍, 甲斐 結子, 中村 修, 小中学校における栄養教諭、学校栄養職員を対象とした食育の実施状況に関する調査, 長崎大学総合環境研究 15(1), 31-40, 2013-04
- 5) 岡崎 光子, 堀端 薫, 三好 恵子, 香川 明夫, 仙波 圭子, 学校における栄養教諭の役割の現状と今後のあり方, 日本食育学会誌 4(1), 9-19, 2010
- 6) 會退 友美, 関口 沙織, 赤松 利恵, 長幡(伊藤) 友実, 松田 充代, 伊能 由美子, 藤原 葉子, 栄養教育実習の受け入れに関する自身の課題と必要と考えるスキルの検討: 東京都の学校栄養職員と栄養教諭における横断研究, 日本健康教育学会誌 19(1), 57-65, 2011

- 7) 沖本 久恵, 川人 潤子, 北林 佳織, 小学校における食育推進に関する栄養教諭と他教諭の関係性-広島県内の食育推進校における調査から-, 比治山大学紀要 (2188-899X) 24 号 Page239-248 (2018. 03)
- 8) 井奥 加奈, 川縁 千織, 石川 厚, 大仲 政憲, 白石 龍生, 大阪府下の小学校教員における食教育実践に対する世代の影響, 大阪教育大学紀要 第 III 部門 (自然科学・応用科学) (1345-7209) 58 巻 1 号 Page81-93 (2009. 09)
- 9) 井奥 加奈, 中村 友栄, 白石 龍生, 小切間 美保, 2009 年と 2013 年の食育調査にみる小学校に勤務する教員の役割分担意識と子どもの食生活における問題意識の変化, 大阪教育大学紀要. 第 3 部門, 自然科学・応用科学 63(1), 5-16, 2014-09
- 10) 野田文子, 杉本仁未, 家庭科と食育の指導に関する考察: 大阪府小学校教員の意識調査から, 大阪教育大学紀要. 第 5 部門, 教科教育, 61(2), 95-103, 2013-02
- 11) 篠原久枝, 宮崎県内の小学校・中学校における食育の実態調査: 五感を生かした味覚教育を中心に, 宮崎大学教育文化学部紀要. 芸術・保健体育・家政・技術 (27), 1-15, 2012-08
- 12) 押谷未孔, 米田泰子, 滋賀県 H 小学校の食育実践から見た栄養教諭と教職員の連携, 食生活研究 32(6), 389-401, 2012
- 13) 小林 陽子, 栄養教諭の教育実践に関するプロセス-家庭科教諭と栄養教諭の連携に関する一考察 (その 2), 群馬大学教育学部紀要 芸術・技術・体育・生活科学編 46, 197-206, 2011
- 14) 小林陽子, 岸田佳那子, 栄養教諭の職務に関する実態調査-家庭科教諭と栄養教諭の連携に関する一考察 (その 1), 群馬大学教育学部紀要 芸術・技術・体育・生活科学編 45, 153-163, 2010 30)
- 15) 土方 直美, 中岡 加奈絵, 五関-曾根 正江, 高田 和子, 金子 佳代子, スーパー食育スクール実施校の事業内容, 栄養学雑誌 75(6), 164-173, 2017
- 16) 倉澤 茂樹, 立山 清美, 中岡 和代, 福井 信佳, 大歳 太郎, 食に課題のある児童生徒への栄養教諭と作業療法士による協働の有効性の検討, 作業療法 (0289-4920) 37 巻 3 号 Page323-329 (2018. 06)
- 17) 嶋田 さおり, 若林 良和, 岡村 絹代, 西村 栄恵, 湯浅 良彦, 栄養教諭を中核とした食育プログラムの実践と効果:-小学校の事例をもとに-, 日本食育学会誌 9(1), 27-39, 2015
- 18) 水津 久美子, 橋本 瞳, 島根県内小中学校の栄養教諭が行う特産品及び郷土料理に関する教育活動の実際, 山口県立大学学術情報 (10), 89-101, 2017-02-28
- 19) 大竹 美登利, 佐藤 麻子, 池尻 加奈子, 藤田 和美, 盛内 健志, 山田 潮里, 横山 英吏子, 家庭科・技術科・栄養教諭との連携を図った食育の実践, 東京学芸大学紀要. 総合教育科学系 65(2), 323-336, 2014-02
- 20) 松田素行, 食育に関する特別活動の実践と課題: 栄養教諭との連携の観点から (特別活動研究・実践の今日的課題:[学級づくり] と [学校づくり] の視点から), 日本特別活動学会紀要 = Journal of JASEA (21), 19-23, 2013-03
- 21) 伊波富久美, “食育” と 「家庭科教育」: リアリティと具体性を伴った学びのための栄養教諭との連携, 研究論文集-教育系・文系の九州地区国立大学間連携論文集- 1(1), 2008-03
- 22) 鈴木洋子, 小学校における家庭科担当教員と栄養職員 (教諭) の連携による食育の実態と課題, 日本教科教育学会誌第 30 巻第 2 号 p9-15, 2007. 09.
- 23) 萩尾 久美子, 熊谷 奈々, 三成 由美, 小学校の学校現場における食育推進の実態調査, 中村学園大学薬膳科学研究所研究紀要 (1882-9384) 8 号 Page67-72 (2016. 02)
- 24) 倉元 綾子, 鹿児島県における栄養教諭による食に関する教育・授業の課題, 鹿児島県立短期大学紀要 (自然科学篇) (0286-1208) 59 号 Page1-20 (2008. 12)
- 25) 沖本 久恵, 川人 潤子, 北林 佳織, 栄養教諭に求められる資質や能力についての研究: 大学生と栄養教諭を対象とした調査の比較検討, 比治山大学・比治山大学短期大学部教職課程研究 Review of the research on teachers training 4, 159-165, 2018-02
- 26) 能瀬 陽子, 岸田 恵津, 栄養教諭の連携に関する活動の実績状況とその関連要因, 国際研究論叢 = OIU journal of international studies : 大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部紀要 31(2), 207-218, 2018-01
- 27) 村上 淳, 松下(金尾) 暢子, 山本 由理, 笠間 基寛, 射越 亜弥子, 学校給食における食に関する指導や食育の実態などに関する調査研究 : 香川県の場合, 中国学園紀要 (11), 133-140, 2012-06
- 28) 尾崎沙和子, 西本憲弘, 香川明夫, 栄養教諭への期待と連携授業における課題の一考察-家庭科教諭並びに栄養教諭・学校栄養職員等への意識調査から, 女子栄養大学紀要 (39), 81-91, 2008
- 29) 川越有見子, 栄養教諭の職務実態に関する考察-福井県, 京都市, 札幌市, 南国市の実態調査を通して-, 東北大学大学院教育学研究科研究年報, 57(1), 211-240, 2008-12



- 30) 水津 久美子, 丹 佳子, 養護教諭・栄養教諭養成教育における多職種連携を主眼とした演習プログラムの開発に関する研究, 山口県立大学学術情報 (1882-6393) 10 号 Page103-113 (2017. 02)
- 31) 菊地 和美, 村田 まり子, 隈元 晴子, 「教職実践演習 (栄養教諭)」における地域連携に関する研究, 藤女子大学 QOL 研究所紀要 13 (1), 73-85, 2018-03
- 32) 古郡 曜子, 杉村 留美子, 栄養教諭と小学校教育との連携 : 教職課程履修生の意識からの考察, 子どもロジー (20), 58-62, 2016-09
- 33) 小沢 日美子, 教職課程履修生における児童生徒の対人関係性発達への気づき: 「養護教諭」と「栄養教諭」, 尚絅大学研究紀要 A. 人文・社会科学編 47 (0), 107-120, 2015
- 34) 嶋田 さおり, 若林 良和, 岡村 絹代, 西村 栄恵, 湯浅 良彦, 栄養教諭を中核とした食育プログラムの実践と効果-小学校の事例をもとに-, 日本食育学会誌 (1882-4773) 9 巻 1 号 Page27-39 (2015. 01)
- 35) 嶋田 さおり, 坂田 香代子, 学校と短期大学が連携した食育の推進について : 栄養教諭養成課程の学生による学習ボランティア活動とその評価, 松山東雲短期大学研究論集 42, 23-32, 2012-03
- 36) 金沢貞子, 清水康子, 笹田陽子, 栄養教諭課程履修生の小学校と連携した研究授業の教育効果についての一考察, 盛岡大学短期大学部紀要, 第 20 巻, p7-12, 2010.
- 37) 氏家 幸子, 平本 福子, 小学校の食に関する指導におけるコーディネートの現状と課題 宮城県の栄養教諭・学校栄養職員を事例として, 日本栄養士会 雑誌 (2187-4476) 56 巻 4 号 Page279-288 (2013. 04)
- 38) 新保 みさ, 福岡 景奈, 赤松 利恵, 小学校における学級担任による給食指導 栄養教諭・学校栄養職員と相談している教員の特徴, 日本健康教育学会誌 (1340-2560) 25 巻 1 号 Page12-20 (2017. 02)
- 39) 岡崎 光子, 堀端 薫, 三好 恵子, 香川 明夫, 仙波 圭子, 学校における栄養教諭の役割の現票と今後のあり方, 日本食育学会誌 4 (1), 9-19, 2010